

令和8年度 我孫子中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア 英語4技能 () 内は3技能 (参考)
			国語	数学	国語	数学	
3 年	学校	110	55	51	11.4	20.8	482 (483)
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499 (499)
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499 (499)

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

○全国学力・学習状況調査結果

平均正答率は全国平均との比較で、国語では－8.9ポイント、数学では－6.0ポイントと大きく下回っている。英語3技能の平均IRTスコアでは全国平均との比較で、－16ポイントと大きく下回っている。

平均無回答率は全国平均との比較で、国語では+6.5ポイント、数学では+10.4ポイントとどちらも全国平均を大きく上回っている。すべての問題において全国平均を上回り、数学では50%を超える問題もある。平均正答率以上に課題がみられる。

＜国語＞ 全国と比較して、すべての内容別正答率は下回っている。特に「読むこと」に関する問題の平均正答率は全国平均から－12.3ポイントと大きく下回っている。。

＜数学＞ 全国と比較して、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の4つの領域すべてにおいて、平均正答率は下回っているが、「図形」に関する問題の平均正答率は全国平均に近い。

＜英語(3技能)＞ 全国と比較して、IRTバンド4以上の生徒の割合は全国および大阪市を上回っている。

今後に向けて

調査の分析結果を校内で教職員で共有し、各教科ごとの課題の解消に向けて授業の改善・工夫を行い、授業での実践につなげていく。授業規律を確立し、学習に集中できるような環境づくりに注力していく。

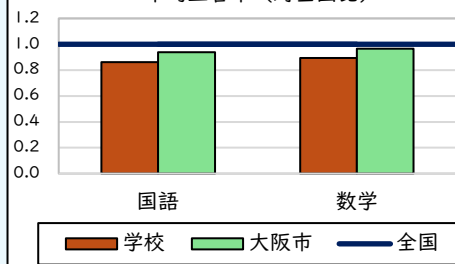
ICT機器の活用や教材の工夫を行うことで、視覚的にも理解が深まるようにし基礎学力の定着をはかっていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

平均正答率（％）

	国語	数学
学校	55	51
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0

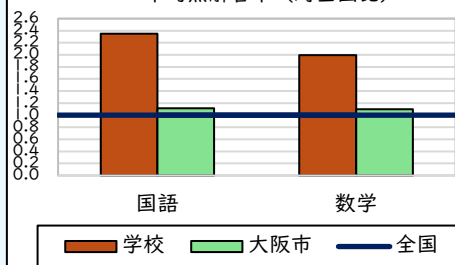
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	11.4	20.8
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4

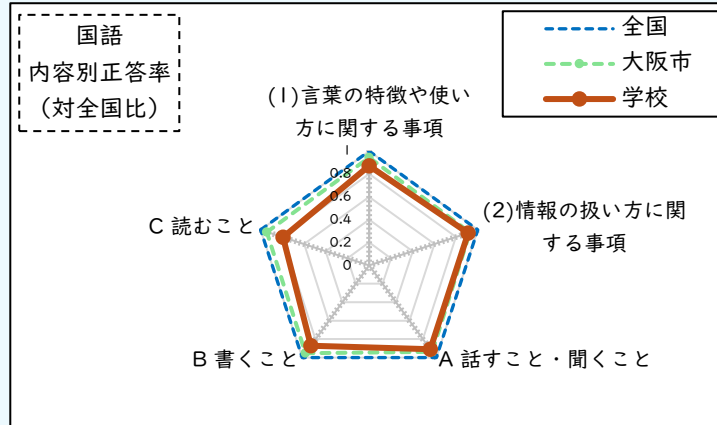
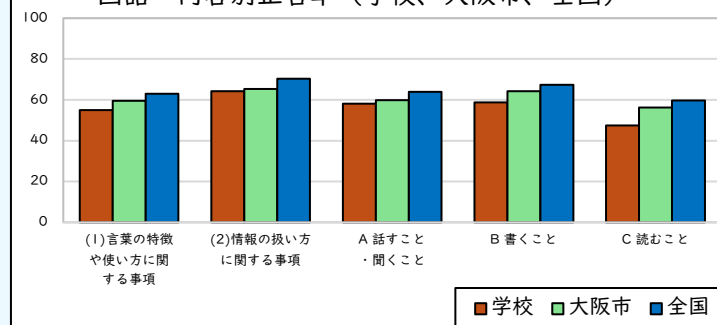
平均無解答率（対全国比）



【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	54.9	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	64.2	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	58.1	59.9	63.9
B 書くこと	3	58.7	64.2	67.4
C 読むこと	3	47.4	56.3	59.7

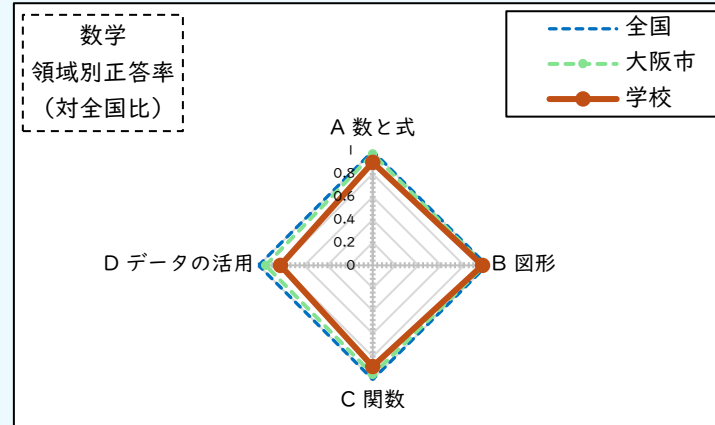
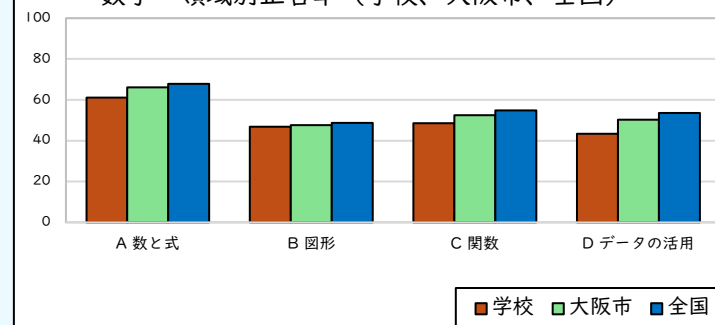
国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	61.1	66.1	67.8
B 図形	4	46.8	47.6	48.7
C 関数	3	48.6	52.5	54.8
D データの活用	4	43.3	50.2	53.5

数学 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



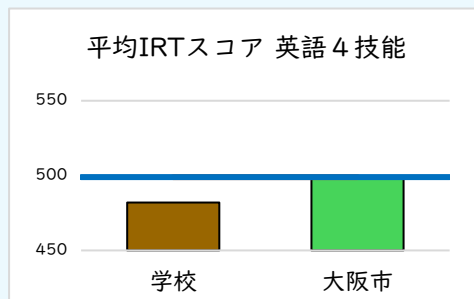
令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

英語 平均IRTスコア

学校	482 (483)
大阪市	499 (499)
全国	499 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

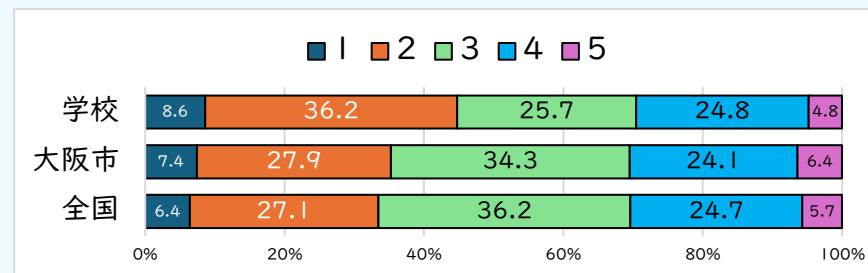
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（4技能）

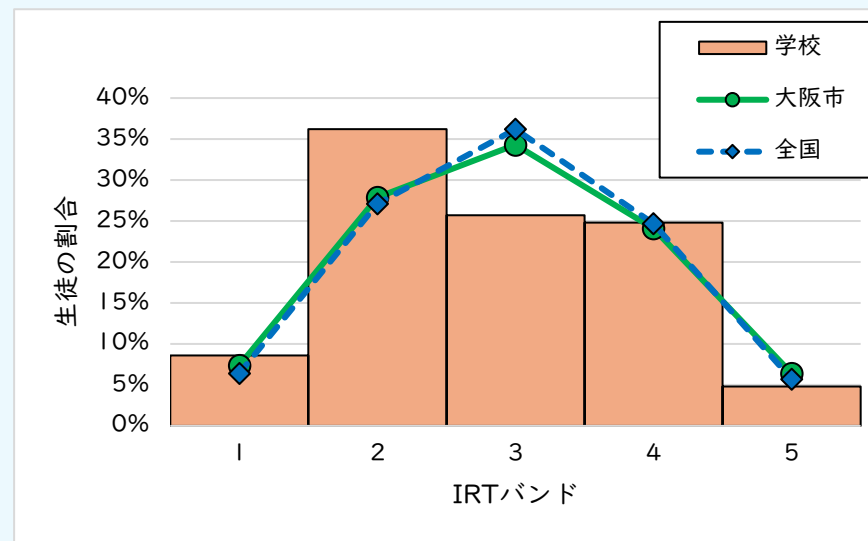
	1	2	3	4	5
学校	8.6	36.2	25.7	24.8	4.8
大阪市	7.4	27.9	34.3	24.1	6.4
全国	6.4	27.1	36.2	24.7	5.7

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



IRTバンド分布グラフ（4技能）



生徒質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

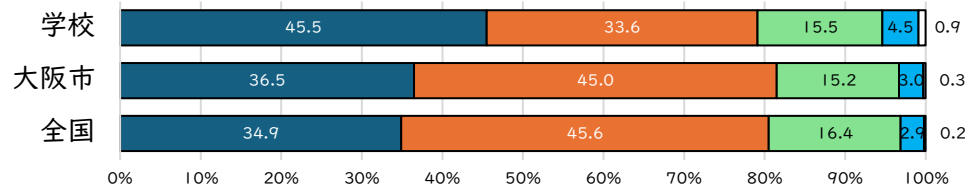
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

(2)

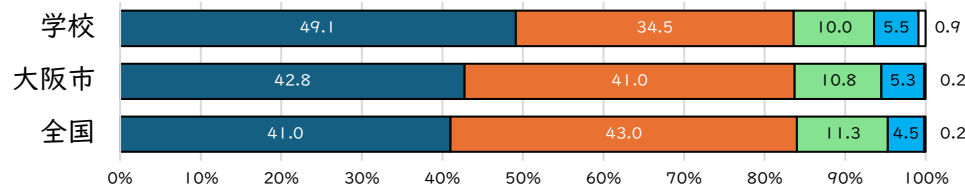
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(8)

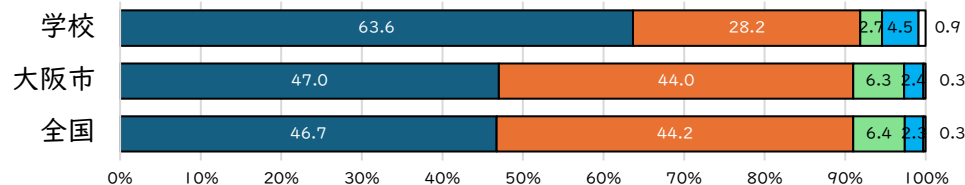
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(9)

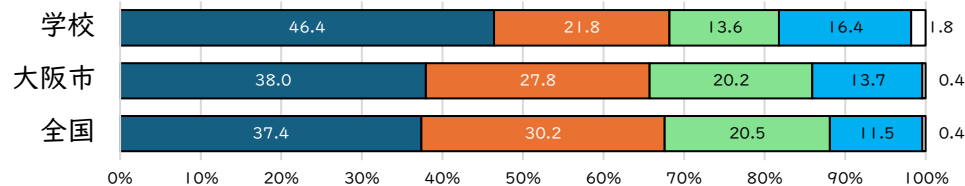
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(10)

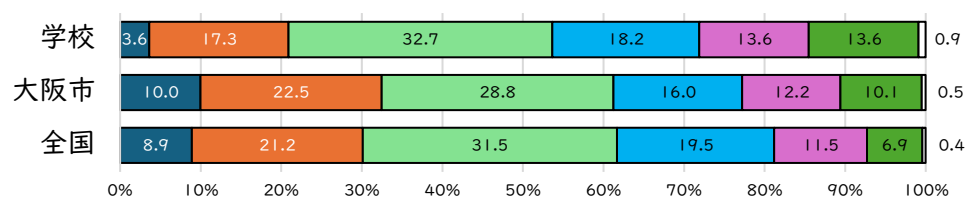
将来の夢や目標を持っていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(23)

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



1 3時間以上
2 2時間以上、3時間より少ない
3 1時間以上、2時間より少ない
4 30分以上、1時間より少ない
5 30分より少ない
6 全くしない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

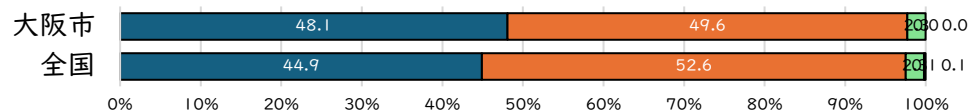
質問番号

質問事項

(10)

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

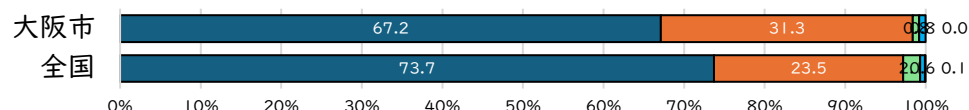


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

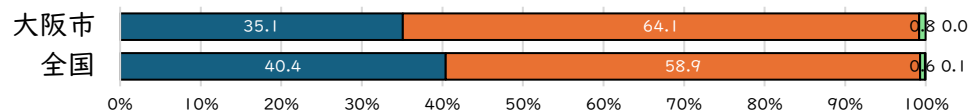


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

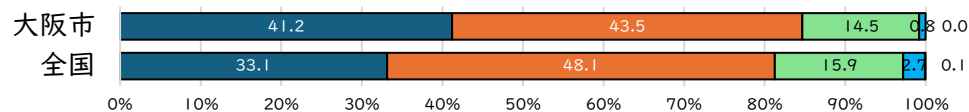


1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

(24)

生徒にとって、学校施設全体として、生徒が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

【学校の回答】 3 どちらかといえば、そう思わない

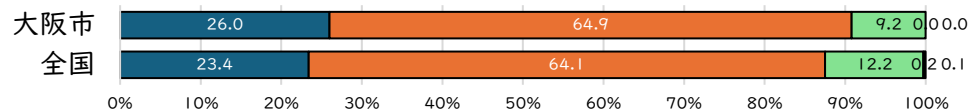


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(31)

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった